

令和2年度 2学年 5月6日(水)までの学習課題

教科	科目	内容・範囲	学習のポイント
	国語	<ul style="list-style-type: none"> ● α スタンダード p.10～45 ● 漢字ノート(毎日) ● 読書感想文 	<ul style="list-style-type: none"> ● 答え合わせはしなくてよいものとする ● 自分が苦手な分野を練習する (読み, 書き, 四字熟語, 類義, 対義など) ● 自宅にある本を読んで, 感想文を書く ※国語ノート(なければ別のノートも可)の裏のページを活用し て, 10行以上の感想文を書くこと!(縦書き)
社会	地理 歴史	<ul style="list-style-type: none"> ● 必修テキスト 地理 p60 ● 必修テキスト 歴史 p60 	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業で習った範囲とそうでない範囲があると思います。できるだけ, 教科書やテキストの説明ページを調べながら解いてみましょう。
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ● Vテキスト 35a, 36a, 37a, 39, 42a, 43, 59a, 61a ● Classi配信予定の確認テスト 『GW課題 数学 確認テスト①』 『GW課題 数学 確認テスト②』 4/29(水)AM9:00配信されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● Vテキストは, 提出用ノートに解くこと。答え合わせ・やり直しもしましょう。提出は, 5/11以降の最初の授業です。 ● Classi配信予定の確認テストは, 5/6までに解いておいてください。どのタイミングで解いてもOKです。
	理科	理科2年の教科書p 22～27の内容を工夫してノートにまとめること。	<ul style="list-style-type: none"> ● ノートやルーズリーフなどに教科書p 22～27の内容を自分なりにまとめること。工夫のポイントとしては, 色使いや絵を書いたりすると復習をする時に分かりやすい。皆さんが先生になったつもりでやろう!! どうすれば分かりやすくまとめることができるのか, 丁寧にやりましょう。
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ● Win Pass 2年 p.32～35 未来の文(1) p.40～43 未来の文(2) (Win Pass 1年の残っているとこも, 復習としてやっておこう) ● NEW CROWN2 Lesson 2 予習 ● Pノート (今までの続きのノート) 毎日1ページ以上 ● 銀チャレ(自由参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ★WinPassについて ・分からない箇所は, 教科書, 辞書を使って解く。空欄を作らない。 →答え合わせは正確に。 自分で考えた答えでないのに○をしない。 ★Pノートについて ・曜日と日付を欄外に必ず書くこと。 (例: Sunday, March nineteenth) ・今まで習った単語や文章, コーパスの単語, 不規則動詞活用等を書くこと。 ・同じ単語を何度も書かない。(多くとも4回) すき間を開けすぎたり, 大きすぎる字や汚い字で書いている場合はやり直し。 ただ書いただけでは意味がない。覚えたかを確認テストすると定着につながる。 ★銀チャレについて Classiで配信します。休業中のためHPIには掲載しませんので, 見れなかった人には後日配布します。希望者は申し出てください。
	特活	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な人への職業の聞き取り学習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な人に普段どのような思いで働いておられるのかを聞き取りしてもらいます。 ● 聞き取り内容について 次の①～⑥を聞き取りしてください。後日, 学校に登校してから書いてもらう予定です。日々キロなどに記録しておいてください。 ①どんな仕事をしていますか? ⇒職種, 具体的な内容 ②なぜ, その仕事につくことを決めたのですか? 何かきっかけはありましたか? ③その仕事に就くために, 努力したこと, 頑張ったことは何ですか? ④自分の仕事で一番の喜び・楽しみは何ですか? ⑤逆に, 苦勞すること・辛い時などはありますか? ⑥働いていくために, 中学生の間にしておくと良いと思うことを教えてください。 ● Classiで, 登校後に書いてもらうプリントを添付します。

★課題への取り組み方★

- ・計画的に取り組みましょう。
- ・自分の力で問題を解きましょう。
- ・わからない問題がある場合は, 教科書・参考書・辞書等の教材を使って調べましょう。
- ・弱点を明確にするため, 答え合わせを丁寧にしましょう。
- ・間違えた場合, すぐに答えを写すのではなく, 再度その問題を解きなおして理解を深めましょう。